

当別に移り住んだイメージを歌に♪

伊畑 いはた よしたか 能孝さん



夢だけはずーっと持ち続けたい

当別へは偶然・・・

札幌市内で通信サービス会社に勤務し、それまでは社宅が与えられていましたが、いつまでも会社のお世話になるわけにもいかないと、平成5年に近郊の不動産の物色をはじめました。そんな時、太美の西当別コミセン付近の宅地分譲をチラシで知ったんです。早速見学に来ましたが、土地勘がなく、防風林を通り越したところで、営業の方が導いてくれたのが、現在住んでいるスターライトタウンだったのです。

偶然のように住み始めた当別でしたが、スターライトの造成地は瞬く間に住宅が立ち並び、自治会も形成されていきました。ここに住む方はほとんど町外からで、多種多様な方々による新興住宅地です。

そんな方々と趣味の囲碁や詩吟をしたり、川柳や詩をつくるのが退職後のささやかな夢となっていきました。詩の次はメロディーをつけて歌を作ってみたいと考えてみたり、どうせなら当別の自然や、町の様子を、こどもから高齢者にまで歌えるような曲を作ってみたいと思うようになったもんです。音楽は特別に取り組んだことはないのですが、作った詩を何度も口ずさむうちに、それをすぐメモして、音の高さだけ判るような楽譜を起こしたのです。初めてのことで、そうしたら役場の方が歌を録音して、楽譜を修正してくれたり、伴奏までつけてくれました。そうなる少し本格的な曲らしいものになりました。

新春町民の集いで披露することになりまして、ピアノ伴奏をCDに録音していただいたわけで

すが、実は年末ということもありぶっつけ本番同様に伴奏と合わせたものですから、自分の歌ながら歌うのも難しかったし、会場には300人近い方がいらっしゃいましたが、少し恥ずかしかったですね。歌詞の中に「旅」とか「旅立つ」という言葉を入れています。自分も他所から来てここを終の棲家とした訳ですが、職場の少ない町ですから、都会などへ流れる若者も多いと思います。そんな人たちにこの町の良さを思い出して欲しいとの気持ちです。簡単なメロディーなので多くの方に口ずさんでいただけたら、幸せに思いますね。歳を重ねてもこんな夢は持ち続けたいですよ。

(2月10日取材)

伊畑能孝(釧路市出身、平成5年よりスターライト在住、趣味 囲碁と山歩き)